

保護者会通信

一年間ありがとうございました

面には保護者の目からみた一年

今年の在園記念はカラフルなテントです

相談室が十周年を迎える園の

副園長 小林研介共著

「臨床心理学」

司

チャーチード本社

「幼児と保育」

小学館月刊誌

「幼児と保育」

三才児童出版社

執筆者

61年度藤原裕代

内田慶子

川島明美

62年度星野高美

川島明美

この日から3人の先生方の運

命が変わったのは言うまでもな

い。貴重な経験の一コマだ。

見たり、先輩の先生から助言

を頂いたりなど自分の保育を見

直すよい機会となりました。私

はこの研究会になくてはならな

いことを教えられました。その

分もと立派な保育者になつて

よりよい保育をし、子供達に還

元していかなくてはと考えてお

ります。

(締)

保護者会長
荒居 康正

家庭と園が一体となり幼児教育

方を中心編集いたしました。

61年度の卒園式も無事終了し

も園長先生からお聞きしており

61年度の卒園記念品はテント

を贈ることになりました。イン

ディアンまつり、忍者まつりと

年々盛大な香竜の運動会。その

中で子供たちを陽差しから守つ

て、しのぎやすくしてあげたい

と思つたからです。黄色の素敵

なお屋根です。

子供たちのために、そして園の

ためにどの行事も意義深いものとできましたことを、改めて感謝いたします。この新聞の三

保護者会としての活動も大きなもののはすべて完了いたしました。役に立てたような気がしていま

す。今後とも増々の香竜幼稚園

の発展と一人ひとりの子どもた

の成長をお祈りし、ごあいさ

つといたします。

去る九月十日に、香竜子ども

に何か違う。妙にしわの多い手、な毎日だった。それは、ひとり

くり違った個性を持ち、明るく素直で純粋な子供達に毎日団

まり返る余裕がない一年間だった。

それから二年三年、しだいに

今やっている活動が子供達にどう

んな意味があるのか、それが一

番いいやり方なのか、こんな風

にしたらどうかと自分の保育を考

える余裕が出てきた。

そして四年五年たつうち、同僚の面々も代わり次々と後輩を迎えた。自分が新任の頃、教師

迎えた。自分はそれ程の力を持

っていない。もっと手本になる

知っている保育者の大先輩の様

にみえたが、いざ自分がなつてみると、自分はそれ程の力を持

っていない。もっと手本になる

先輩の余裕が出てきた。

そこで四年五年たつうち、同

僚の面々も代わり次々と後輩を迎えた。自分が新任の頃、教師

迎えた。自分はそれ程の力を持

ていない。もっと手本になる

先輩の余裕が出てきた。

そこで四年五年たつうち、同

僚の面々も代わり次々と後輩を迎えた。自分が新任の頃、教師